

ジョナスは2000年に25才になる (1976)

JONAS QUI AURA 25 ANS EN L'AN 2000

JONAH WHO WILL BE 25 IN THE YEAR 2000

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 スイス/フランス

時間 110分

初公開日 1984/11

公開情報 欧日協会

【解説】

コミュニー的なつながりを持つようになる、60年代に青春を送った8人の男女の現在（と言っても製作時の段階でフタ昔前だが）と未来への希望を、ホロ苦く、しかし、ポジティブに描くタネールの意欲作。彼らの中には、68年の五月革命で挫折した闘士や、密教にのめり込む女秘書、有機農法の野菜栽培に熱中するエコロジストの夫婦や、フランスに住みながらスイスのスーパーに勤める女などがいる。そして、失業中の夫マチューの代わりに電気工場でマチルドが……。二人の間に生まれた息子ジョナス。21世紀を迎える頃には彼は25歳。そんな肅然とした想いが、8人のかすがいともなり、未来を積極的に思考する原動力ともなっていく、一種のディスカッション・ドラマである。“Don't Trust Over Thirty”と言われた時代に最も多感な時を過ごした彼らの、30代を迎えるに当たっての戸惑いがそれぞれ切実に語られて共感できる。

【クレジット】

監督	アラン・タネール	Alain Tanner
脚本	ジョン・バージャー	John Berger
	アラン・タネール	Alain Tanner
撮影	レナート・ベルタ	Renato Berta
音楽	ジャン＝マリー・セニア	Jean-Marie Senia
出演	ジャン＝リュック・ビドー	Jean-Luc Bideau
	ミリアム・ボワイエ	Myriam Boyer
	ドミニク・ラブリエ	Dominique Labourier
	ミュウ＝ミュウ	Miou-Miou